

# 伊達安芸宗重と天童氏

伊達安芸宗重は、涌谷領主伊達定宗の子として生まれました。次男であったため、天童氏の娘婿となり、家督を継いで頼長を名乗ります。八幡の領主としての実績は明らかではありませんが、ほどなく実兄伊達宗実が急死したことで実家に戻され、涌谷伊達氏を継ぎました。この時、宗重は妻である天童氏の娘（長巖院）を伴っています。やがて宗重は、藩主後見人の伊達兵部宗勝と対立し、その不正を幕府に訴え出しますが、裁決が下される直前に、伊達宗勝側の奉行（家老）原田甲斐宗輔の刃傷で落命しました。

宗重 殿天正年中興江守人伊達政宗  
 御依有由縁被為扶助慶長十  
 六年亥年六月十一日逝去室小國  
 日向守光基女  
 宗頼 兵部法名雲山宗景頼久依  
 無子息伊達上野政景次男成  
 養子寛永二乙丑年三月廿九日  
 逝去  
 頼長 甲斐後信濃宗頼依無男子  
 伊達安藝定宗次男為舞南  
 跡後定宗嫡子依死去還而  
 定宗之為後嗣  
 頼次 内記頼長依無男子曰理倫後  
 重次天童江有由縁且亦重次依  
 忠勤子息定義伊達宗重為聲  
 而天童苗跡伊達忠宗御給之  
 右重次者伊達祖宗公之曾孫  
 中納言政宗公之從弟前記國

天童家系図  
中央に頼長の名が見えます。



伊達安芸宗重木像



加瀬沼  
多賀城市、塩竈市、利府町  
天童頼長により築かれたと伝えられています。



長巖院木像



見龍院靈屋 涌谷町  
伊達安芸宗重の靈廟。